

(別紙)

令和6年12月17日

只見町議会議長 佐藤 孝義 様

広報広聴常任委員会
委員長 菅家 忠

只見町議会報告会報告書

只見町議会基本条例に基づき実施した議会報告会について、下記のとおり報告します。

記

1. 開催日時及び場所

令和6年12月1日（日）

午前 9時30分～午前11時00分 只見公民館

午後 1時00分～午後 2時30分 明和公民館

午後 3時30分～午後 5時00分 朝日公民館

2. 出席議員 佐藤孝義議長、中野大徳副議長、酒井右一議員、山岸国夫議員、
鈴木好行議員、小沼信孝議員、矢沢明伸議員、目黒道人議員
菅家忠議員、齋藤猛議員、平山真恵美議員、角田誠議員

3. 総括

12月1日（日）、3地区公民館で実施した。議会から、「只見町の医療体制・認定こども園・駅前整備計画等」のテーマを掲げ、町民の皆様が普段思っていること等多くの意見や提案を広聴することができた。

3会場とも今すぐ取り組まなくてはならない課題、町の存続が危惧されるような問題や意見が多く出されたことを受け、議会として、意見を整理し各委員会で今後の対応について協議する必要があると考える。

なお、配布資料、町民からの意見は以下のとおり。

- (1) 本会議における議決報告／令和6年4月から令和6年11月会議迄
- (2) 各常任委員会の活動報告／3常任委員会
- (3) 特別委員会の活動報告／決算特別委員会
- (4) 町民からの意見（3地区の参加人数61名）

町民意見及び議会からの返答

●只見会場意見

町民意見 駅前複合施設の進捗状況は、289号開通に間に合うか？

冬期間を考え、地元の人も利用しやすい施設に。

運営体制はどのように考えているか。

議会回答 町は、開通に間に合うように建設したい意向。町民利用も考え、町民の憩いの場、子供を遊ばせる施設を計画している。

運営体制は、指定管理制度の適用を考え、計画中。

施設や運用計画において、不確定な部分が多い。議会は詳細を把握できておらず、今後担当委員会を中心に調査を進めていく。

町民意見 議員選挙にならなかったことで、議員定数の見直しは。

議会では、各集落の現状を視察し、住民意見を把握して欲しい。

議会回答 議員のなり手不足の解消と、議員定数の見直しは今期中に審議し、次期選挙までに結論を出したい。

集落の視察は、早急に実施したい。

町民意見 定数と同時に議員報酬も考えて欲しい。

限界集落が増える。集落負担の軽減と補助の充実を求める。

議会回答 議員報酬は定数と併せて協議する。

集落補助は実情を把握し、町へ要望する。

町民意見 役場庁舎の統合(新築)はどうなっているか、議会への説明はあるか。

議会回答 議会への説明はない。今後一般質問等で取り上げたい。

町民意見 庁舎建設には議会も関心を寄せて欲しい。

マイナ保険証の手続きをするのに、2カ所まわった。

議会回答 庁舎建設について町の考えを調査していく。

マイナ保険証の手続きは、本来、一カ所で間に合うはずだ。詳細を確認する。

町民意見 289号開通に向けての進捗状況は。

湯ら里の改修・改造計画はどうなっているか。

湯ら里の源泉整備と薪ボイラーの関係は。

認定こども園の内容は。

議会回答 289号開通は令和8年秋の開通を目途に工事を実施しているとの説明を受けているが、冬期の全線開通の時期については明言されていない。

湯ら里の改修計画は、平成31年の交流施設に係る調査特別委員会にて報告、提言をしたが、町の実施計画にはまだあがっていない。

湯ら里の源泉設備の改修は次年度に計画中。薪ボイラーは現在使用中の灯油ボイラーの補助的役割で、灯油の使用量削減によるコストダウンと、間伐材の有効利用を図っている。

認定こども園は、現在の朝日保育園1カ所で3地区の3歳以上の園児を幼保連携型の認定こども園に統合するという内容。議会では、施設の問題や小学校統合問題も含めて調査を進めていく。

町民意見 小学校統合と認定こども園の検討と併せて、老朽化した小学校新築も喫緊の課題として考えて欲しい。

無投票で当選した議員なので、もっと町民の意見を聞く機会を作って欲しい。

議会回答 小学校統合と学校新築は、提案者が提案できていない状況だ。今後も調査を進めていく。

一般会議などを利用し、町民との接点を増やしていきたい。

●朝日会場意見

町民意見 駅前複合施設に野外ステージは計画されているか。

小学校は1日でも早く統合して欲しい。

町内には危険空き家が増えている。解体したいが、費用が工面できない人もいる。対策はないか。

289号は開通しても当面は冬期通行止めと聞く。通年開通の見込みは。

議会回答 複合施設の野外ステージの計画は示されていない。調査する。

小学校統合は当局が在り方検討会で検討中だ。今後検討会の報告を基に当局と協議する。

空き家対策は、特別措置法を基に対応するしかない現状だが、個人対応が困難な例もあるため、更なる調査研究を実施する。

289号の通年開通時期はまだ示されていない。早期開通に向け要望していく。

町民意見 常勤医がようやく1名確保できたが、今後の朝日診療所の運営体制はどうなるのか。

議会回答 火曜～金曜の週4日の常勤医と応援医師による診療体制だが、まだ不十分と認識している。新たな常勤医の確保に向け、当局とともに取り組んでいく。

町民意見 医師の不在により、医療・介護施設現場の勤務体制が苛酷になっている。対策を求める。

議会回答 町はオンライン診療も検討しているが、医師確保が喫緊の課題と認識している。継続して取り組んでいく。

町民意見 学校の裏山や通学路等、熊やイノシシからの安全対策をしてほしい。

議会回答 裏山に緩衝地帯を設けるなどの対策を実施しているが、引き続き調査と対策を求めていく。

●明和会場意見

町民意見 移動販売車が休止している。再開の目途はあるか。

議会回答 現在は2台とも休止している状態だ。送迎を実施している地区もあるが、買い物弱者対策は引き続き要請していく。

町民意見 布沢地区の水路災害が町では災害認定されなかった。担当委員会はどう捉えたか。

冬期孤立住宅の問題も解決していない。どう考えるか。

議会回答 現地視察を実施したが、時間の経過もあり、災害か否かの判断は出来なかった。補助事業の目的が達成できていないことは問題視し、当局の対応を求める。

冬期孤立住宅問題は町内に同様の箇所が数カ所あるため、当局と対応を検討していく。

町民意見 　むら湯の給湯温度が低い。対策を。

移動販売車の休止理由は収支が赤字だからだ。町補助、J A、商工会など協力・協賛での再開を求める。

議会回答 　揚湯量が減少していることが原因とみられる。今後源泉設備の改修計画があることから、対応策を求めていく。

町民意見 　移動販売車にとらわれずに買い物代行サービスなど、実現可能な方法を探っては。

議会回答 　町長からは福祉公社という発言もあった。担当委員会で協議を進めて行く。

町民意見 　289号開通に合わせた交通安全対策は。

認定こども園の通園方法は。

少子化対策を進めて欲しい。

議会回答 　交通安全対策は、国道改良と含めて、国・県に要望中であり、継続して要望活動を続ける。

こども園への通園は、只見、明和地区の園児はそれぞれ元の保育所まで親が送り、そこから通園バスで通うことになる。

少子化対策は町の重要課題と認識している。当局とともに取り組んでいく。

以上